

大学コンソーシアム富山 令和6年度地域課題解決事業申請書

(**新規** ・ 継続)

自治体等名	射水市	担当者	所属 財務管理部 資産経営課 氏名 島倉 信一 TEL 0766 - 51 - 6617 E-mail : shisankeiei@city.imizu.lg.jp
地域課題名	地盤沈下のある未利用市有地の利活用について	事業費	500 千円
地域課題の背景	<p>本市有地は平成 15 年 2 月に旧小杉町土地開発公社が県から譲り受けた土地であり、もともとは、県に分譲宅地として造成された土地である。</p> <p>分譲後に地盤沈下による建物への被害（基礎、床及び柱の傾斜、壁等のひび割れ）が確認されるようになり、家屋の復元工事のため、県の施工により基礎杭の打設工事が行われたが、その後も被害が発生したため、住宅を曳屋により近隣地へ移転させた後の跡地である。地盤動態調査を継続的に県で行っているが、現在もゆるやかに地盤沈下が続いている状況であり、市有地の利活用に至っていない。</p>		
課題の概要	<p>(1) 課題＝解決したい問題の説明、(2) その課題解決において自治体が行うこと、(3) 高等教育機関に求めたいこと、<u>についてできるだけ具体的に記入願います</u></p> <p>(1) 地盤動態調査から、将来の地盤沈下の推計と今後の本市有地の利活用の可能性を探り、長年にわたり未利用となっている土地の状態を打開したい。</p> <p>(2) 対象地の地盤動態調査等資料の提供。</p> <p>(3) 現地調査と市の提供資料から、地盤沈下の本市有地の利活用策と利活用に伴い設置可能となる構造物等の設置時期について提案を行う。</p>		
事業実施に当たっての協働体制	<p>【自治体等の役割】 資料の提供、対象地域の地域振興会等への説明</p> <p>【高等教育機関の役割】 調査、分析研究、立案</p>		
成果の活用方法	<p>・ 提案資料をもとに土地利活用に向けた方向性を定めるとともに民間提案制度による提案内容の事業実施の可能性を判断する資料とする。</p>		

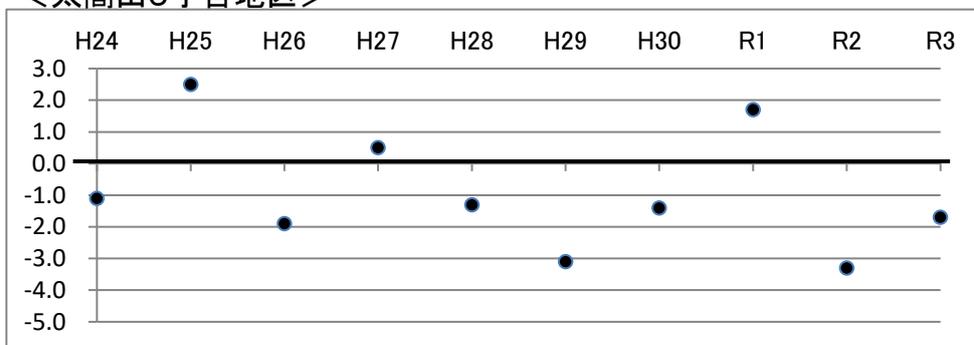
●太閤山5丁目及び6丁目地区における地盤動態について【過去10年分】

富山県土木部建築住宅課

(単位：mm)

地区名 観測年度	太閤山5丁目地区 (年平均)	太閤山6丁目地区 (年平均)
H24	-1.1	-0.9
H25	2.5	2.9
H26	-1.9	-1.6
H27	0.5	0.8
H28	-1.3	-1.3
H29	-3.1	-2.6
H30	-1.4	-1.9
R1	1.7	2.2
R2	-3.3	-3.3
R3	-1.7	-1.5
H24～R3総沈下量 (10年間)	-9.1	-7.2

<太閤山5丁目地区>



<太閤山6丁目地区>

